



(第3期) 第2回まつもと子ども未来委員会の報告

平成29年5月19日

第3期の第2回まつもと子ども未来委員会は、平成29年5月14日(日)あがたの森文化会館で行いました。この日は、38人の委員のうち、小学校5年生から高校3年生までの、22人の委員が出席しました。

1 委員長・副委員長決め

この日は、1年間の委員会の中心になって、会の進行をしたり、進め方の相談をしたりする、委員長と副委員長を決めました。

小学生から2人、中学生から2人、高校生から2人の候補者^{こうほしゃ}を選んでもらってから、選ばれた6人のなかで相談して、委員長1人を決め、ほかの5人は副委員長^{えら}をやることにしました。

その結果、委員長を高校生に、副委員長を、小学生2人・中学生2人・高校生1人にやってもらうことになりました。

委員長・副委員長の皆さんは、1年間よろしくお願いします。ほかの委員のみんなも、委員長・副委員長に協力^{きょうりょく}して、いっしょに委員会の活動を進めましょう。



▲ 委員長(右)・副委員長(左5人)

2 委員会のテーマについて

(1) 大きいテーマ

次に、これからの委員会で考えていく委員会のテーマを考えました。



まず、大きなテーマを1つに絞りました。これまでのみんなの意見から考えると、「PR について」「自然・環境^{かんきょう}について」「安心・安全について」の3つのテーマに分けられます。これを参考^{さんこう}にしながら、どんなテーマで考えていきたいか、班ごとに話し合いをしました。そのあと、自分の班ではどんな意見があったのか、班から発表をしてもらいました。

	みんなからの主な意見
PR	・ 観光客^{かんこうきやく}をふやして活気^{かつき}あふれるまちにしたい ・ 自然が豊かなことなど、松本のいいところをもっと知ってほしい ・ 松本城が市民に愛^{あい}されて、観光客がさらに来るように ・ 松本のいいところをたくさん探して、それをPRする方法を考えたい
自然・環境	・ ゴミが落ちている場所の改善^{かいぜんあん}案 ・ 安心して飲める水のこと ・ 観光客にいいところだと思ってもらいたい ・ 自然にめぐまれている感じがしていいから、もっと豊かにするには、どうしたらいいか話し合いたい（夏^{なつ}すずしいための木陰^{こかげ}など）
安心・安全	・ いじめのことが問題になっているから、どうにかできないか

みんなからの意見を参考に、大きなテーマを多数決で決めることにしました。

- ✿ PRについて 15人
- ・ 自然・環境について 5人
- ・ 安心・安全について 2人

PRについて話し合いたい人が一番多かったので、PRについて話し合っていくことにしました。

(2) 小さいテーマ

ここで、「PRについて」という大きいテーマだと、はば広くいろんなことを考えなくてはいけないので、少ない回数の委員会で、みんなの意見をまとめていくために、「松本のなにを」「だれに」「どうやって」PRするのかなどをくわしく考えて、テーマを小さくすることにしました。そのために、つぎの4つのヒントを班ごとに考えてみました。



- 1 あこがれのまち（PR することで、どんなまちをめざすか）
- 2 松本のいいところ・好きなところ
- 3 松本のいいところをだれに PR したいか
- 4 「あこがれのまち」にするために、必要だと思うもの・こと・取り組み

	みんなからの主な意見
1 あこがれの のまち	・ 観光客がたくさん来るまち ・ 知名度が上がり、まちのイメージが定まっているまち ・ 明るく活気あるまち ・ 楽しんでもらえるまち、満足してもらえるまち ・ 歴史を大切に作るまち ・ 交通が便利になって日帰りの観光客がふえているので、泊まってもらえるまち ・ たくさんの人に好かれるまち、市民や観光客に愛されるまち ・ 便利で安全にくらせるまち ・ どの国の人があっても、わかりやすく観光名所をまわれるまち
2 松本の いいところ	・ 自然が豊かなところ、空気がきれいなところ ・ 松本城があるところ、古い建物がたくさんあるところ ・ 昔からの伝統行事があるところ ・ にぎやかなところ ・ 花がたくさんあるところ（花いっぱい運動発祥のまち） ・ 地域のひとがやさしいところ
3 だれに PR したいか	・ 日本人だけでなく、世界の人 ・ 市外の人に自慢できるように、市民の人たちにもよく知っていてほしい ・ お年寄りの人、わかい人 ・ 松本に観光に来た人・ 松本を知らない人
4 必要なもの、 こと、取り組み	・ もっと飛行機の便をふやして、便利にする ・ チラシやパンフレット、ガイドブックをつくる ・ 休憩所 ・ 遊具、古い公園を新しくする ・ PR するために、松本の特徴や魅力を調べる ・ パンフレットやガイドブックをいろんな言語でつくる（未来委員会バージョン） ・ 「ネット社会」を活用して、口コミを広める ・ 松本に宿泊した場合の過ごし方を提案するパンフレットをつくる ・ 宿泊した人に値引きなどのキャンペーンをする

班でどんな意見があったか発表して、みんなの意見をきいたあと、小さいテーマをなににするか、班で話し合っ、発表しました。

① 松本にはば広い世代の人に来てもらうためには

【理由】明るく活気あるまち、どんな人にも有名なまちにしたいから

② あらゆる人（市内・国内・海外）に、自然とともにあるまち松本をPRするには

【理由】自然のことを大事に考えている意見が多かったから

③ 愛する松本を知ってもらおう

【理由】松本のなかでも、あまり知られていない穴場^{あなば}で魅力的なところを知ってほしいという意見がたくさんあったから

④ 松本のいいところを探して、たくさんの人が松本に来てもらうには

【理由】にぎやかで明るいまちにしたいから

このなかで、どれを小さいテーマにするか多数決をしたところ、①が5人、②が4人、③が8人、④が5人だったので、③の「愛する松本を知ってもらおう」をテーマに第3期の委員会は考えていくことになりました。

3 6月の見学場所について

見学場所については、みんなから意見をききました。いろんな場所を言ってもらったので、全部は見られませんが、移動時間^{いどう}などを考えながらどこに行くか決めて、お知らせします。

みんなからの意見

松本城、乗鞍^{のりくら}、上高地^{かみこうち}、考古博物館^{こうこはくぶつかん}、ダム、四賀化石館^{し が かせきかん}、弘法山古墳^{こうぼうやまこふん}、梓川^{あすさがわ}（川）、美術館、まつもと市民芸術館、アルプス公園、時計博物館、自然が豊かなところ

4 お知らせ

この日は、12月2日（土）と3日（日）に、茅野市^{ちの}で行われる子どもの権利条約^{けんりじょうやく}フォーラム in 信州のことを、実行委員会の方がお知らせに来てくださいました。

未来委員会でも、フォーラムの実行委員会や当日の分科会^{ぶんかかい}（話し合い）に参加したり、茅野市の高校生と交流したりしてほしいと言ってくれました。次回の委員会のときまでに、フォーラムや実行委員会に参加できるかどうか、確認^{かくにん}してくるようになりました。

次回の委員会は6月11日（日）にあがたの森文化会館であります。また、その前の6月4日（日）には市内の見学会があります。